

大学基準協会から適合の認証評価 (旧大阪医科大学)を受けて —内部質保証の充実—

寺崎 文生¹⁾、森迫 宏幸²⁾、藤原 佐智³⁾、池田 卓司⁴⁾、柝澤 健史⁵⁾、
中野 隆史⁶⁾、内山 和久⁷⁾

- 1) 大阪医科大学 医学教育センター 専門教授(医師会理事)
- 2) 大阪医科大学 学務部 課長補佐
- 3) 大阪医科大学 医学教育センター 課長補佐
- 4) 大阪医科大学 学務部 次長
- 5) 大阪医科大学 Institutional Research (IR) 室 室長
- 6) 大阪医科大学 医学教育センター センター長(医師会副会長)
- 7) 大阪医科大学 医学部長

前書き

本稿の内容は旧大阪医科大学の認証評価結果です。2021年4月に大学統合により、新生の大阪医科大学となった現在、全学的な内部質保証のしくみの見直しと新たな構築が始動していることを付記致します。

2020年4月1日付で提出した大阪医科大学点検・評価報告書及び大学評価分科会案(基準協会の内部組織)に基づき、2020年10月8日と9日の2日間、基準協会による実地調査が行われました。今回は、新型コロナウイルス感染拡大の状況のため、Zoomを用いた遠隔会議形式での調査となりました。2021年3月12日に大学基準協会から下記の判定結果が届き、大学基準に適合していると認定されました。

大阪医科大学に対する大学評価(認証評価)
結果

判定

2020(令和2)年度大学評価の結果、大阪医科大学は本協会の大学基準に適合していると認定する。

認定の期間は、2021(令和3)年4月1日から2028(令和10)年3月31日までとする。

大学基準協会による大学評価は7年ごとに実施されています。今回は本学(旧大阪医科大学)

にとっては3回目の受審となり、下記の10項目の基準について審査が行われました。

基準1: 理念・目的、基準2: 内部質保証、
基準3: 教育研究組織、基準4: 教育課程・
学習成果、基準5: 学生の受け入れ、基準
6: 教員・教員組織、基準7: 学生支援、
基準8: 教育研究等環境、基準9: 社会連
携・社会貢献、基準10: 大学運営・財務。

本学(旧大阪医科大学)はいずれの基準においても高い評価をうけました。下記の4点は長所として記載され、とくに高く評価されました。

長所

基準1: 建学の精神及び学部の目的等の周知・浸透を図るため、医学部において「MISSION・COMPETENCEカード」が全学生・教職員に配付されている。カードには、建学の精神、学是、大学の使命と教育目的、医学部の教育目標及び卒業コンピテンシー含む3つの方針が明示され、学生に対しては常に学生証等に入れて携帯するよう指導されており、「学勢調査」の結果、2018(平成30)年度から2019(令和元)年度にかけて、医学部学生の建学の精神の認知度が大幅に上昇したことが明らかになったこと

から、建学の精神及び学部の目的等の浸透に寄与していることは評価できる。

基準7：医療人としての自覚と多職種連携マインド養成のため、入学直後に医学部及び看護学部の新入生を対象として実施している合同学外合宿は、救急蘇生体験学習や、「良き医療人となるために必要なこと」をテーマに両学部学生が一緒にグループ討論を行い、よりよき医療人となるための抱負等をまとめたポスターを作成・発表するなど、さまざまなプログラムの課題をこなしながら、両学部学生が互いの意見を交換・尊重しつつ一つの回答を導きだしていく、まさに多職種連携の第一歩となる取組みを実践している。この合宿の経験が、高学年での多職種学外臨床実習へとつながることも期待され、将来の職となる医師・看護師としての医療人マインドの形成の礎になる、チーム医療教育として優れた取組みであると評価できる。

基準8：教育研究活動支援のため、個人研究費の配分のほか、「鈎奨学基金」研究助成、海外留学を志す若手教員を対象とした「田中忠彌国際交流基金」「ゴールドマン・サックス若手医師長期海外留学支援奨学基金」を提供している。学術研究助成基金助成金又は科学研究費補助金の獲得のために、研究推進課による申請書のチェック、外部コーディネーターによる申請書添削を実施するほか、「若手研究者科研費応募奨励助成金」及び「研究拠点育成奨励助成金」によって外部資金獲得の足掛かりとなる研究を支援している。また、大学として「長期学外研修制度」を設け、業務研修を許可された教員はその期間中の身分が保証されており、大学が提供する各種助成金を

併せて活用し、過去3年間に多くの若手を中心とする研究者が国内外において1年から2年間の学外研究を行った。以上の一連の取組みにより、継続的に研究成果を発表しており、大学の研究支援が一定の成果を上げていることは評価できる。

基準9：高齢化が加速する中核都市・高槻市及び高槻商工会議所との包括協定に基づき行っている「高槻サステナビリティ事業」は、社会連携・社会貢献事業として、高槻市、高槻市医師会、高槻市歯科医師会、高槻商工会議所等多くの機関が連携し、高槻市民への健康に関する教育啓蒙啓発活動や地域包括ケアを展開している。学生に対しても、FD&SD「教育・研究集会」にて事業の成果が共有されているほか、公衆衛生に関する取組みについては医学部カリキュラムの「学生研究」に実習として組み込まれており、医学部学生の実地体験に基づく学びの場として機能している。こうした高槻市の健康増進・健康寿命の延伸と地域の発展を目指した社会連携・社会貢献活動は、大学の教育目的に合致しており、学生の学びにもつなげていることから、評価できる。

次に、基準2: 内部質保証に関して少しご報告をさせていただきます。大学の「内部質保証」は、とくにその充実が求められている重点領域であり、評価に際しては、下記の5つの項目がチェックされました。

①内部質保証のための全学的な方針及び手続を明示しているか。②内部質保証の推進に責任を負う全学的な体制を整備してい

最近の動き 大学基準協会から適合の認証評価(旧大阪医科大学)を受けて—内部質保証の充実—

るか。③方針及び手続に基づき、内部質保証システムは有効に機能しているか。④教育研究活動、自己点検・評価結果、財務、その他の諸活動の状況等を適切に公表し、社会に対する説明責任を果たしているか。⑤内部質保証システムの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

本学(旧大阪医科大学)においては、内部質保証のための全学的な方針に従って、学長を委員長とし、学部長、教育センター長、IR室専任教員、研究支援センター長、看護学実践研究センター長、中山国際医学医療交流センター長等を構成員とする「教育戦略会議」並びに「研究戦略会議」を設置し、内部質保証に責任を持ち、それを推進する役割を担っています(図)。「教育戦略会議」は、学長の教学改革に向けた取組

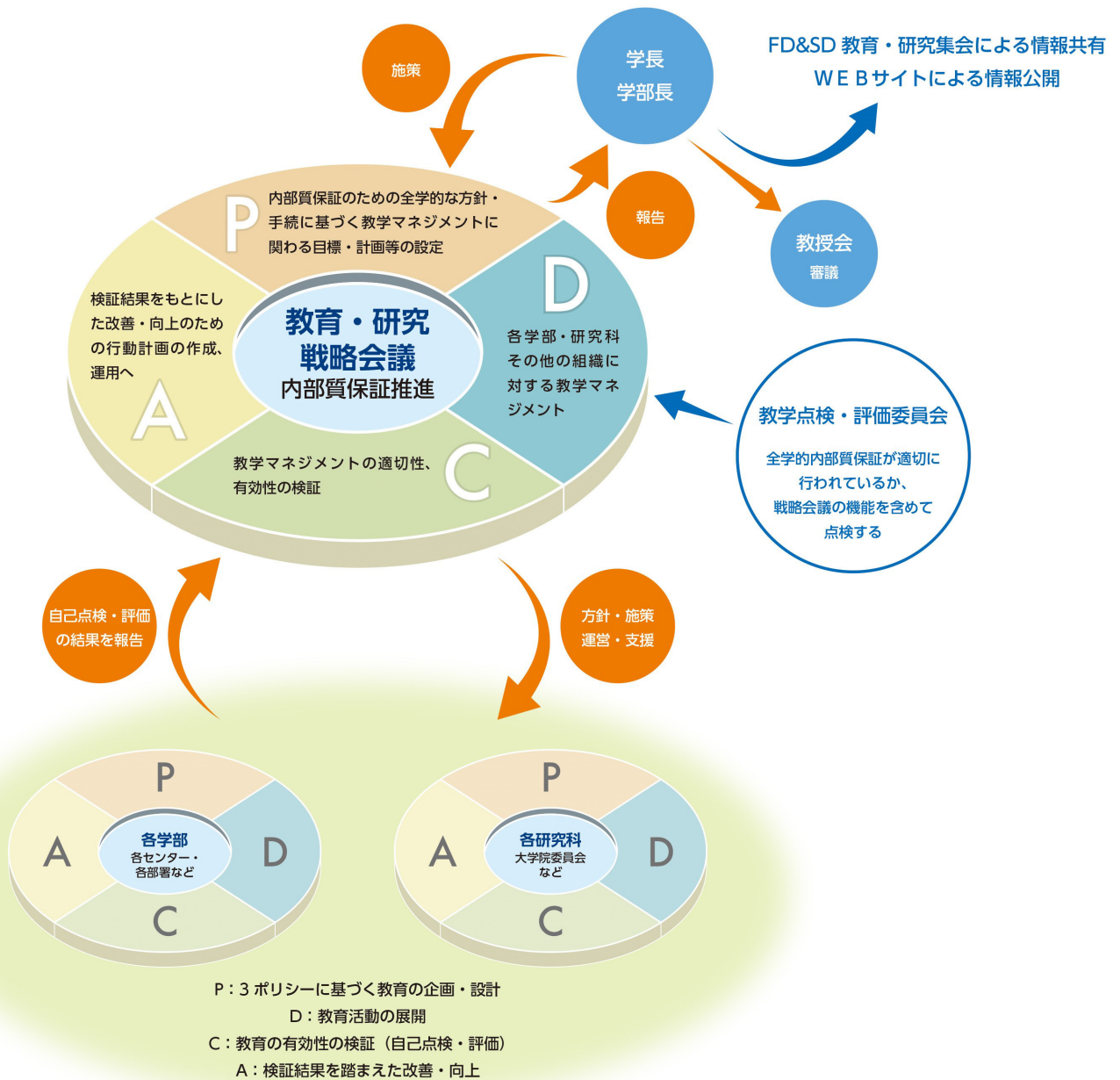


図 内部質保証及び自己点検システム(大阪医科大学ホームページ:内部質保証推進)

み、3つの方針(アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー)、学習成果測定方法等、教学マネジメント及び教学の内部質保証に係る重要事項を、「研究戦略会議」は、私立大学研究ブランディング事業、産学連携、科学研究費補助金等公的研究費・補助金等に係る事項を審議するという役割分担になっています。

学部は両学部の「教育センター」、大学院は「大学院委員会」が、教育活動や改善・改革のための計画を実行した結果について点検・評価を実施します。その結果については教授会又は研究科教授会で報告され、そこでの意見を踏まえ、「戦略会議」に報告するという体制を整えています。そして、各学部・研究科やセンター等の学内組織・部署は、「戦略会議」による検証結果や改善計画を受け、教学マネジメントに関する目標及び方向性に従って教育活動を展開し、その結果について改めて自己点検・評価を行う仕組みになっています。

ただし、各所属長による「戦略会議」の決定事項や検証結果の各学内組織(部署)に対するフィードバックや、フィードバックをもとに各学内組織(部署)が実施した改善・向上のための取り組みの記録が、第三者により検証可能な形で十分に残されていない点が指摘され、「戦略会議」と各学内組織(部署)、及び学内各組織間の連携内容をより具体的に可視化することによって、内部質保証のPDCAサイクルを促進させることが期待されています。

また、教員、学外有識者、事務職員等から構成される「教学点検・評価委員会」を設置し、2020年第1回委員会にて内部質保証システムの適切性について検証が行われました。「教学点検・評価委員会」の検証結果をもとに、内部質保証システムの改善・向上を図り、「戦略会議」を中心としたPDCAサイクルをさらに有効に機能させることが期待されています。

以上、この度(2021年3月)、本学(旧大阪医科大学)が大学基準協会から適合の認証評価を受けたこと、とくに内部質保証の現状についても高い評価を受けたことをご紹介させていただきました。内部質保証推進の関連事項は本学ホームページに掲載されております。大阪医科薬科大学医師会の会員の先生方、ご関係の皆様におかれましては、引き続き、本学の質向上のためにご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、下記をあらためて付記させていただきます。

本稿の内容は旧大阪医科大学の認証評価結果です。2021年4月に大学統合により、新生の大阪医科薬科大学となった現在、全学的な内部質保証のしくみの見直しと新たな構築が始動していることを付記致します。